

PTA あきた

～みんなで育てる 秋田の子ども～



2016.12.16 No.132

【発 行】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中島町1番1号 秋田県生涯学習センター内
TEL(018)864-8975 FAX(018)824-7935
E-mail : pta-akita@helen.ocn.ne.jp
http://www.pta-akita.com

70周年記念事業

「被災地から学ぶ」事業

期日：平成28年7月28日、29日

視察：宮城県石巻地区



大川小学校の校歌に「未来を拓く」という歌詞があった。大川小学校の子たちを思うと無念でならない。この黒板をいつものように使っていたのに、次の日にはそこにすわる人がいないと思うと、とても心が苦しくなった。

(中学2年/女子)

自分がちゃんと生きていくために、しっかり自分で正しい判断をして正しい行動をすることが大切なんだと改めて感じました。この出来事を忘れず、次の世代にしっかり伝えていきたいです。

(中学3年/女子)

「ふる里を見つめ直し、愛着を持ってもらう機会になってほしい」ガイドさんの言葉に胸をうたれました。何でもそうですが、あたり前があたり前ではないという事を強く感じる事ができたので、これからの生活にいろいろいかせるようにしていきたいです。

(保護者/女性)



平成28年度 第42回 秋田県PTA研究大会 大館北秋田大会

平成28年10月22日(土)、23日(日)北秋田市文化会館とホテル松鶴を会場に行われました。この大会には、公益社団法人日本PTA全国協議会の寺本 充会長の出席も頂きました。

1日目は、北秋田市文化会館で「ダックスムーン」の歌とトークによる研修会が行われました。2日目は、開会行事、記念講演、チャリティーフェスタ、閉会行事が行われました。記念講演は、鷹巣中学校 養護教諭の藤嶋 浩子先生から「今、子どもたちが抱える課題」の演題でお話して頂きました。



記念講演

「今、子どもたちが抱える課題」 ～子どもの思いを受け止め、保健室から発信しているメッセージ～

北秋田市立鷹巣中学校 養護教諭 藤嶋 浩子 氏



私が養護教諭になった30数年前に比べると環境が大きく変化しました。今私の仕事の8～9割は子どもたちの心に関わる仕事になっています。そんな保健室で受け止めている子どもの力になりたくて、私はおうちの皆さんと繋がるということを大切にしています。

子どもたちを木に例えると、今の子どもは立派な木になりました。でもその木たちは、すぐに折れたり、根っこが弱くて倒れてしまう木たちが多いのです。この木たちがしっかり根を張って、自分を支えて成長していくことができるように、キーワードを考えました。

「愛情」「人と関わる力」「忍耐力」「夢や希望」「失敗」の5つです。

1「愛情」について。家での会話や触れ合いが少ない現状にあり、学校で親子のふれあいの場を設定しなければいけない時代になったと思いました。そこで保健室からだっこの宿題を出したのです。おうちの人と触れ合うことで子どもは元気になりました。その他もいろいろ取り組みをしましたが、家族の会話はどんどん少なくなっていきました。そこで子どもたちに楽しい家族の会話をプレゼントしたいと思い、家族でクイズをする宿題を出しました。第1弾は、学校のことや子どものことを話題にしてほしいと願い、子どものことに関するクイズを企画しました。第2弾はお父さんお母さんの子どもの頃の話をしてほしいと思い、おうちの人が子どもにクイズを出す形にしました。楽しい会話で子どもたちは喜びました。会話やふれあいを大切にしたい愛情いっぱい環境が根を遅くします。

2「人と関わる力」について。集団生活の中でトラブルはつきもの。小さなケンカをし、仲良くなる。そんなことを繰り返して心が遅くなるのだと思います。人と関わっていくためには、①人の気持ちがわかること、②心を込めて自分の思いを伝えることができること、③優しさと同時に強い遅しさを持つことが大事だと思います。人とうまく関わる力をつけるために、友だちを大切にすると5つの魔法の言葉を提案しました。①ありがとう、②ごめんね、③すごい、④そうだね、⑤一緒にやろう。この言葉が自然に口から出るように、お家の人を巻き込んで取り組みました。人と関わる力をお父さんお母さんの姿から学ぶことができるように、やって見せて、意識して伝えてほしいと思っています。

3「忍耐力」について。忍耐力をつけるために、一番大切なことは基本的な生活習慣を身につけることだと思います。今の子どもたちは苦手なことや不安から逃げようとします。強い心を

育てるためには、いっぱい心を動かして不安や緊張を乗り越える経験をさせていかなければいけないと強く感じています。

4「夢や希望」について。現実的に物事を捉えて夢や希望を語らない子どもが多くなりました。大人が子どもを褒めてあげなくなったことや、大人のあまりにも現実的な言葉掛けが原因だと思います。子どもに夢や希望を持たせるためには私たち大人も夢を持って生き生きと生きなければいけないと思います。

5「失敗を経験する」について。子どもたちは大人の評価を気にして失敗することに異常な不安をもっています。他の人と比較するのではなく、「あなたが一生懸命頑張っていることをお父さんとお母さんはちゃんとわかっているよ」ということを伝えてあげてほしいと思います。そうすると子どもたちは一生懸命頑張れる子になっていきます。

私は毎年4年生に「大人になるからだ」という授業を親子学習会という形で行っています。その目的は①体の変化が始まるこの時期に親子で体のことを話さきっかけを作ってあげたい②二分の一人式の節目に、命の大切さを親子で確認したい③10年間子育てを頑張ってきたおうちのみなさんを褒めてあげたい。そしてこれからも子育てを頑張りたいとエールを贈りたいからです。

今の環境では子どもたちは壊れてしまいます。秋田の子育て環境が本当に子どもと向き合っていてしっかりと人作りをすることができる子育て環境になることを願ってやみません。

みなさんのお子さんがしっかりと根をはって遅く生きていくことができるように、ぜひ子育てを頑張ってください。



研修会 「未来へ歌を歌おう」 ～絆が創るふるさとの幸い～ ダックスムーン

歌われた
曲目

ハチ公物語、ALIVE、刻の翼、未来へ歌を歌おう、
スターマイン、八乙女セレナーデ、友達の歌、
きりたんぼ物語、星空、With your smile

～ 曲と曲の間の話から 抜粋 ～



この「ハチ公物語」という曲は2人で渋谷のハチ公像の前ですーっと座って作ったんです。そうすると僕なんかは、秋田犬としてはハチ公はもちろん素晴らしいのですが、僕たち人間が、今、忘れかけている、あるいは忘れちゃいけない

というのを教えてくれているような気がするんですよ。それは、例えば人を思いやる、待つときの切なさ。先程スマホの話をしてきましたが、今はなかなか「待つこと」ができない時代です。ですから、その思いをハチ公から私たちは贈り物として受け取っているのではないかなと思っています。

次にお送りする曲は「ALIVE」という曲です。「ALIVE」の意味は、「気づいて」とか、「生きて」。大館警察署と少年保護育成委員会とのコラボで作った曲です。僕たち大人が、子どものことを信じてあげる、励ましてあげたりすることって本当に大事なのではないかな。きっと子どもたちはそのサインをどこかで送っていると思うんです。今日お越しいただいている皆さんは、子育てとか教育で一生懸命子どもたちの心に手を当ててくれる方だと思いますので、「いつも心に手を当てること、心に温もりを差しのべられる大人でありたいな。」と確かめ合いたいですね。



「刻の翼」は、2008年尾去沢鉱山が開山して1300年の年に、尾去沢中学校から依頼されて作った曲です。当時の校長先生からの依頼でした。

全国学力学習状況調査の質問紙の「ふるさとが好きか」という問いに、「好き」、「どちらかといえば好き」が60%しかなかったそうです。地元出身の校長先生は愕然としました。そこで、子どもたちにもっとふるさとのことを見つめてほしい、できれば地域を元気にしたい、そんな思いがあって、曲作りの活動に取り組みました。子どもたちが地域をフィールドワークして、地元の人たちから話を聞いたり、あるいは直に町や自然を見つめたりしました。詞のもとになる、素晴らしい、思いにあふれた「言の葉」が届けられました。そしてすごかったのは、先生たち、子どもたちが曲を作るだけで終わらなかったことです。学校祭で歌う、地域の音楽祭で歌う、CDをOBの方に配ったりする。その活動をするうちに、いろんな人たちからふるさとを思うたくさんの感想が届きました。それが、子どもたちのふるさとへの思いを一層強くしました。

次の年、また同じ「ふるさとが好きか」という問いに、100%「好き」の答えが出たそうです。

第64回

日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会

大会スローガン

「徳島発！ 渦巻く力を これからの社会に巣立つ子どもたちのために
～まけまけいっぱい愛を注ぎ込もう～」

開 催 平成28年8月20日(土)、21日(日)



コミュニケーション力、想像力の重要性

仙北市立角館小学校PTA会長 戸嶋 秀樹

8月20日、21日の両日、第64回日本PTA全国研究大会徳島うずしお大会に参加させて頂きました。私自身全国大会は、昨年の札幌大会に続き、2回目の参加となりました。

現在、社会情勢やインターネット環境の急激な変化に伴い、子どもたちを取り巻く環境も急激に変化し、コミュニケーション力低下の問題が浮き彫りになっています。初日、私が参加した特別第1分科会の研究課題は、「子どもを取り巻く課題の解決に向けて」でした。

アトラクション・開会式に続き、女優水野真紀氏の基調講演がありました。水野氏は自らプロデュースする「水野真紀の魔法のレストラン」を例に上げ、番組を制作する上で、受付・スタイリスト・AD・アシスタントすべての役職において熟練したコミュニケーション力が必要であるという話をされました。その上で、「笑顔」が一番の武器になるという事でした。

2日目は、漫画家竹宮恵子氏による記念講演がありました。竹宮氏は、小学校時代から漫画家になるまでの苦悩や葛藤を自らの経験を元にお話しされ、「想像力」が最も重要であるという事でした。その上で、「想像力」には個人差があるので、保護者が掴んでいる事で、子どもたちを良い方向へ導いて上げる事も一つの方向であるというお話でした。

この2日間の研修に参加して、改めて「人と人とのつながり」が重要であると実感しました。今後も学校と保護者、地域がコミュニケーションを取りながら連携を計り、子どもたち一人ひとりの健全育成に取り組んでいきたいと思ひます。来年の全国大会は杜の都仙台での開催です。PTA会員の皆様には是非参加して頂きたいと思ひます。

居場所づくりで楽しい地域・PTAに！

秋田市立秋田東中学校PTA会長 藤田 信

秋田では考えられないほど暑い徳島で、熱い仲間たちと共に学び、考え、語り合う2日間でした。

全体会記念講演は、漫画家で京都精華大学学長の竹宮恵子さん。「子どもの自立のためには、親に対する批判を受け入れることも必要だ。」「子どもを分かっているつもりでいるが、本当に分かっているのか。自分の想像で作って出していないか。」「子どもに対して想像力を働かせてほしい。子どもがなぜそうするのか、そう言うのか。」という言葉に考えさせられました。自分の考えを押し付けたり、思い込みで接したり…。子どもの自立を促すためには気を付けなければいけないと思ひました。

分科会は、食育や人権教育、コミュニケーション力、地域活動、地域防災、広報活動など7つあり、どれも興味深いテーマでしたが、「地域・自然と共存する学校・PTA」に参加しました。基調講演は、葉っぱビジネスで有名な「株式会社いろどり」の横石知二さん。おじいちゃんやおばあちゃんの経験や知識を生かせる葉っぱ集めは、社会を支え、家族の生活を支えるなど、高齢者の生きがい・居場所づくりの側面を併せ持っている、生き生きと仕事をする事で、心身共に健康で元気になっていくそうです。私たちの住む地域においても、地域住民それぞれの居場所や出番をつくる事が、私たちが豊かに楽しく健康に暮らしていける地域づくりにつながっていくのではないかと感じました。PTA活動にも、このような視点を活かしていきたいと思ひます。

この大会に参加して、新しい仲間ができました。このご縁を大切に、助け合いながら、まけまけいっぱい(あふれそうなくらい)の愛を子どもたちに注いでいきます！

第48回

東北ブロック研究大会 弘前大会

平成28年9月10日(土)、11日(日)に弘前市を会場に開催されました。本県からは山崎、竹嶋の両副会長がパネリストとして分科会で発表したほか、全県から69名の皆さんが参加しました。

また今回は、来年度の仙台大会が全国大会と東北大会を兼ねて行われるため、平成30年度の第50回東北ブロック研究大会秋田大会の視察も行いました。青森県PTA連合会及び主管であります弘前市連合父母と教師の会の方々には大変ご配慮をいただきました。



❖ 貴重な体験

大仙市PTA連合会会長 山崎 精輝

東北ブロック弘前大会「第2分科会」のテーマは、「大人が変わる子どもが変わるPTA研修」。パネリストとして参加し、貴重な体験させて頂くことができたこと、そして、青森公立大学経済学部教授の内海隆先生の講演、他県のPTA会長さん達の事例発表からも学ぶことができました。

内海先生の講演の中では、今の親は「ひ(品格)・け(けじめ)・し(示す)」がない人が多いこと、また自分の子どものことをどれだけ親が知っているか。改めて考えさせられました。

福島市立鎌田小学校の誉田PTA会長の発表の中で、地域のお祭りに、PTAとして参加していることは、とても素晴らしいことだと思いました。

青森県三沢市立上久保小学校の船見PTA会長の事例発表では、三沢航空科学館からの講師を毎年招いての親子での気球づくりは、親子で楽しめる研修活動だと感じました。

私は、大曲西中学校の「PTA親子講演会」は、親と子に共通の話題での研修として、そして、大仙市PTA連合会の講演会と研修視察の活動と秋田県PTA連合会の会長会議の講演会を会員の研修事例として発表させていただきました。

単P、郡市、県と様々な研修活動を通じて、親と子がともに成長していくことを伝えることができたと思います。



❖ やっぱりコミュニケーション!

にかほ市PTA連合会会長 池田 智成

「組織・運営」「健全育成」「いじめ防止」など、6つのテーマの分科会があり、その中から「大人が変わる子どもが変わるPTA研修」に参加しました。

基調講演では、青森公立大学の内海教授が「我が子を育てるには、親自身が成長することが大切である。PTAは親の成長の場であり、気づきの場である。」と話されました。

我が子のことをどれだけ理解しているか?では、好きな食べ物やアーティスト、得意なこと、子どもが一番望んでいることなど10項目あり、知っているようで知らない自分に気づくことができました。

また、子どもに尋ねる(訊く)のではなく、良い聞き手になること、親自身が未来は明るいと話さなければ、子どもは未来に希望をもてないなど、深く響いた言葉でした。

パネルディスカッションでは、福島県・秋田県・青森県の代表の方々から、それぞれ特色のあるPTA活動について発表がありました。PTA活動への参加意欲を促すには、活動の目的を明確にし、仕組みをしっかりとすること、そして、重要なのは飲みニケーションであり、活動を楽しむこととの内容でしたが、子どもと親だけでなく、親同士もコミュニケーションが大切であると強く感じました。

早速、その内容を実践するべく、弘前駅前に会場を移し、秋田県の参加者約50人での交流会を行い、大いにコミュニケーションを深めることができましたと思います。

来年は仙台市ですので、多くの皆さんから参加していただきたいと思います。

平成29年度の東北ブロック研究大会は、平成29年8月25日(金)、26日(土)に開催される「第65回日本PTA全国研究大会仙台大会」と兼ねる予定です。本県には、300名の参加要請がきています。ご協力よろしくお願ひいたします。



第5回

秋田県PTAチャリティーフェスタ in 大館北秋田

演目

綴子大太鼓(上町大太鼓保存会)
「大太鼓、獅子踊り、奴踊り」



チャリティーフェスタ募金額 **25,570円**



平成28年度 優良PTA文部科学大臣表彰 受賞団体



❖ 伝統と誇りを胸に

大館市立成章小学校PTA会長 前田 周平

今年度、私たち大館市立成章小学校PTAが優良文部科学大臣表彰を受賞いたしました。授賞式は11月18日に東京のホテルニューオータニで行われ、私は成章小学校PTA代表として参加させていただき、厳粛な雰囲気の中、大変光栄なひとときを過ごしてまいりました。そして、日を増すごとに受賞の重みを実感しております。先生方保護者の方々はもちろん、成章小学校PTAを取り巻くすべての方々の、PTA活動に対する多大なご協力とご理解にあらためて感謝を申し上げたいと思います。

我が成章小学校は、旧藩政時代の成章書院を起源とした歴史ある学校で、古くから地域に支えられてきました。地域の方々や常に関心を持っていて、PTA会員が所属していない家庭や高齢者世帯の方が学校行事に参加して下さいます。また、大館市内でも我が地域だけが取り組んでいる、小・中・高の12年間を通じた地域PTA組織である十二所地区PTA連絡協議会を毎年行い、世代間交流や情報交換をしながら教育支援活動を推進しています。

私は常に学校は地域社会の元気の源であると考えております。先輩方が築いてきた伝統を守りながら先生方と保護者がしっかりと手を取り合って地域と共に歩んでいくことで、子どもたちが心豊かにたくましく成長し、地域に活力をもたらします。文部科学大臣表彰をいただいたことを励みに、これからも地域とのパイプ役としてPTA活動に力を尽くして参りたいと思っております。

最後に、この受賞に際し、いろいろとお世話になりました関係者の皆様、誠にありがとうございました。そして、一緒に受賞された秋田県の団体の皆様、個人受賞された皆様、本当におめでとうございませ



❖ 応援したくなる学校を目指して

湯沢市立稲川中学校PTA会長 佐藤 正明

この度、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞させて頂いた事は大変名誉な事であり、日頃より学校活動にご尽力頂いております地域の皆様、PTA活動を支え続けて頂いた諸先輩方に深く感謝を申し上げたいと思います。

稲川中学校は地場産業や農業が盛んな地域であることから、近隣でのインターンシップや職場見学などを通して地域の方々との結びつきが強く、部活動の応援などには地域の方々が率先して子ども達を勇気づけてくれます。我々の地域は学校教育に対して協力、参加しているという意識が高いのも特徴です。

私達のPTA活動で最も大切にしてきたことは地域全体に「挨拶の輪」を広げていくことです。大人自らが模範となり爽やかな挨拶が浸透した地域社会の構築に貢献していくことで「挨拶の輪」が広がり、地域の方々が「応援したくなる学校」になるのだと考えております。

いつの時代も子どもたちの健やかな成長を願う親の想いは一緒です。親の愛情を幹に子どもたちの一所懸命な努力が枝葉となり、やがて立派な花を咲かせることが出来るように学校、地域、保護者がしっかりと見守りながら地域の宝である子どもたちを育てていきたいと思っております。

最後になりますが、今回の受賞を励みとしより一層地域の方々が応援したくなる学校、PTA活動を継続して参りたいと存じます。今後とも御指導、御協力の程を宜しくお願い申し上げます。



平成28年度 表彰一覧

❖ 平成28年度優良PTA文部科学大臣表彰

大館市立成章小学校PTA (会長 前田 周平)
湯沢市立稲川中学校PTA (会長 佐藤 正明)

❖ 平成28年度公益社団法人 日本PTA全国協議会会長表彰

■ 団体表彰

にかほ市立平沢小学校PTA (会長 小川 京子)
横手市立平鹿中学校PTA (会長 小松谷 昇)

■ 個人表彰

竹 嶋 美佳沙 (県P連 副会長)
鈴 木 勉 (県P連 副会長)
吉 村 昌 之 (県P連 副会長)
松 橋 史 尚 (大館・北秋田PTA連合会会長)

❖ 平成28年度東北PTA連絡協議会会長表彰

■ 団体表彰

鹿角市立末広小学校PTA (会長 内藤 昌浩)
男鹿市立脇本第一小学校PTA (会長 村井 稔)
秋田市立築山小学校PTA (会長 鈴木 孝友)
秋田市立広面小学校PTA (会長 利部 忠)
秋田市立岩見三内中学校PTA (会長 田口 真一)
秋田市立豊岩中学校PTA (会長 齋藤ひかる)
由利本荘市立岩城小学校PTA (会長 松本 慶一)

■ 個人表彰

加藤 淳一 大館・北秋田PTA連合会 前会長
大塚和歌子 能代市山本郡PTA連合会 前会長
石川 陽子 湯上市・南秋田郡PTA連合会 前会長
木村 哲 横手市立吉田小学校PTA 会長
阿部 榮司 湯沢雄勝PTA連合会 前会長

平成30年度 第50回日本PTA東北ブロック研究大会 シンボルマークの募集について

募 集 要 項

1. 趣旨について

平成30年9月に「日本PTA東北ブロック研究大会 秋田大会」が、秋田市を会場に開催されます。秋田県PTA連合会は、地元の主催連合会として「つながろう東北 深めよう絆 美の国秋田で学びあおう 未来を拓く子どもたちのために」をテーマに充実した大会になるよう準備を進めているところです。また、この大会は東北ブロックの研究大会が始まってから50回を迎える節目の大会でもあります。

県内外の方々にこの大会について広く周知いただくとともに、PTAやPTA活動を身近に感じていただくために、親しみやすいシンボルマークを募集します。

2. 主 催 秋田県PTA連合会

3. 募集内容 平成30年度 第50回日本PTA東北ブロック研究大会 秋田大会のシンボルマーク

4. 応募期間 平成28年12月15日(木) から 平成29年1月31日(火) まで(締切当日必着)

5. 応募資格 秋田県内の小・中学生またはPTA会員

6. 応募規定

- (1) 応募作品は自作で未発表のものに限ります。
- (2) はがき、A4判白色用紙(縦横自由)1枚につき1点の作品とします。
- (3) 秋田県、秋田市らしさを表現した、だれもが親しみやすいものとしします。
- (4) 採用作品の著作権は、すべて主催者に帰属します。
- (5) 作品は、返還いたしません。
- (6) 採用作品は、本大会のシンボルマークとして広報活動に使用します。その場合、一部補作することがあります。
- (7) 採用作品が、他で使用されているものと同じか類似していることが判明した時は、審査発表後であっても採用を取り消します。

7. 応募方法

- (1) 1人1点の応募といたします。
- (2) 作品には、デザインの趣旨(100字以内)、学校名、学年(児童・生徒のみ)、住所、電話番号、氏名(ふりがな)を記入してください。

8. 審査・発表

- (1) 秋田県PTA連合会において審査し、採用作品を決定します。
- (2) 採用者には、平成29年3月(予定)に通知し、当会のホームページに掲載します。

9. 賞

最優秀賞(採用作品)	1点	賞状及び副賞
優 秀 賞	5点	賞状及び副賞
上記該当者は、平成29年度当会総会の席上で表彰します。		
参 加 賞		上記以外の全員

10. 応募先・問い合わせ先

秋田県PTA連合会事務局
 〒010-0955
 秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター内
 TEL 018-864-8975 FAX 018-824-7935
 E-mail pta-akita@helen.ocn.ne.jp

平成28年度「楽しい子育て全国キャンペーン」 ～親子で話そう！家庭のさすな・我が家のルール・命の大切さ～ 三行詩 優秀作品

早寝早起き朝ごはん全国協議会会長賞

小学生
の部
優秀作品

ぼくはちょっと太め
 少しやせたいけれど
 お母さんのごはんがおいしいから今はムリ。
 …………… にかほ市立院内小学校 4年 齊藤 誉 さん

中学生
の部
優秀作品

「ごまかすな！」
 祖父が残してくれたこの言葉
 一生心にひびく声
 …………… 大仙市立大曲中学校 1年 高橋 優輝 さん

平成28年度 秋田県三行詩コンクール 入賞者

■小学校の部

にかほ市立院内小学校	4年	齊藤 誉	さん
にかほ市立院内小学校	2年	石橋こはる	さん
にかほ市立院内小学校	1年	宮本 花帆	さん
湯沢市立湯沢西小学校	3年	樋渡 建都	さん
由利本荘市立西目小学校	6年	斎藤いおり	さん

■中学校の部

横手市立横手南中学校	3年	渡部 葉月	さん
横手市立横手南中学校	3年	佐々木桜羽	さん
大仙市立大曲中学校	1年	高橋 優輝	さん
横手市立横手南中学校	2年	滝澤満結莉	さん
大仙市立大曲中学校	2年	民谷 綾海	さん

■一般の部

横手市立平鹿中学校PTA	高階 直子	様
湯沢市立湯沢西小学校PTA	樋渡 市子	様
北秋田市立合川中学校PTA	小林 寿	様
秋田市立将軍野中学校PTA	阿部 洋美	様
にかほ市立院内小学校PTA	川島 留美	様

■団体特別賞

由利本荘市立由利小学校	様
にかほ市立院内小学校	様
大仙市立大曲中学校	様
横手市立横手南中学校	様



日新火災



日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう「顔のみえるおつきあい」で、お客さまのご期待にお応えしたいと考えています。

お客さまに最も身近で誠実な損保を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社

日新火災海上保険株式会社

秋田サービス支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2-4F TEL.018-837-5255